



ご挨拶 関西・らとびあ ニュース発刊に寄せて

このたび、「関西・らとびあ ニュース」を発行する運びとなりました。皆様のご支援を得て、美しき歌声の国 ラトビア共和国に関する情報の発信を行って行きたいと思っております。この号は、まず準備のための試作であります。友好協会設立後は皆様のご協力により、友好協会の機関紙も兼ねるものにしたいと存じます。ご支援ご協力をお願いいたします。

在大阪ラトビア共和国名誉領事 東郷 武

去る5月16日に大和ハウス工業(株)本社の一階に、在大阪ラトビア共和国名誉領事館が開設され、私が初代の名誉領事を拝命いたしました。

大和ハウス工業とラトビア共和国とは過去何の関係もありませんでしたが、以下のご縁でお引き受けすることになりました。

2年前に東京にラトビア共和国の大使館が開設されペーテリス・ヴァイヴァルス特命全権大使が着任されました。大使はその後大阪で名誉領事館を受けてくれる会社を探して、当時関西駐在大使であった天江喜四郎氏に相談されておりました。天江さんは井手正敬元 JR西日本会長（現ルクセンブルグ名誉領事）などに相談されて、ラトビアの主要産業は林業であるから、未だどこの名誉領事館も受けていない大阪に本社のある、住宅・建設業の大和ハウス工業が適任ではないかと頼んでこられました。当初元会長で前特別顧問の石橋毅一氏に要請がありましたが、健康上の理由で氏から現顧問の私にお鉢がまわってまいりました。関西には50を超える企業や団体が様々な国の名誉領事を既に受けております。当社も社会奉仕の一環としてお受けせねばなるまいというのが出発点でありました。

初めははるか遠い異国という印象でしたが、実際に現地を訪ね人々と接してみますと、日本と殆ど対極にあるようなこの国の歴史、文化をよく知ることは日本にとって非常に大事なことだと思ふようになりました。北京オリンピックの入場式に見られるように世界には大国とともにたくさんの小国があり、それぞれが特色を持って世界を形成しているのがわかります。ラトビア共和国は人口223万人、国土は6.5平方キロメートル（北海道の約80%）しかなく、過去に大国の支配を受けることが多く、特に1940年からのソ連の支配の下で、殆ど国が溶けてなくなるような苦しみにも耐え1991年に再独立を果たしました。自国の文化、言語を守り、国民のアイデンティティを保ち続けた強さは、一度の敗戦と占領しか経験していない海で隔離された島国であるわが国からは想像し難いものです。知的水準が高く音楽や民話を愛し、平和で親日的なこの国の人達との交流は日本人が世界を理解し、自らの文化を深めるためにも大変重要なことだと思ふます。そういう意味でこの名誉領事館が単に名誉の意味でなく、お互いの情報交流の基点の一つとしての機能を持つことを願っています。

神戸市は古くから港町の首都リガと姉妹都市になっていますが、来年35周年を迎えるにあたり、今年の11月にリガ市長はじめ多くの人達が関西に来られていくつかの行事が行われます。その他有名な世界的バイオリニストのギドン・クレーメルさんやリガ大聖堂少年合唱団の公演なども予定されています。来年は神戸市から多くの方がリガを訪れると思われまします。そのようなニュースや日本人のラトビア訪問記事などをラトビアに関心のある関西の人達にお伝えする新聞を発行できないかと考えてその準備号として本紙を作りました。このような新聞を継続し、情報を交換するためには、ラトビアに興味を持たれる多くの人達に参加していただき、共に編集にも参加していただきたいと考える次第です。また新聞の発行とともに友好協会を立ち上げる予定にしております。本紙の最後にその素案を記しますので協会への参加もあわせてご支援を宜しくお願いいたします。

トピックス★国際交流拠点 5月16日在大阪ラトビア共和国名誉領事館が開設★



村上健治大和ハウス社長（左端）ほか
来賓によるテープカットセレモニー

当日は、ラトビア本国からアイナルス・シュレッセルス運輸大臣、ペーテリス・ヴァイヴァルス駐日ラトビア特命全権大使ならびに港湾・空港・鉄道などの事業の幹部の方々に出席頂き、日本側からも山崎特命全権大使（関西担当）、三輪大阪府副知事はじめ大阪府、大阪市、神戸市の国際交流関係の方々に出席いただきました。山崎大使の代読により高村外務大臣からのメッセージも披露された後、レセプションでは、塩川元財務大臣、天江前全権大使らからもお祝いの言葉をいただくなど、ラトビアに興味をお持ちの様々な分野の方々約250名のご参加を得て盛大に名誉領事館開設を祝っていただきました。



シュレッセルス
運輸大臣



ヴァイヴァルス
駐日大使



山崎特命全権大使



三輪大阪府
副知事



塩川元財務大臣



天江前全権大使



井手ケンゾウ
名誉領事



知性コミュニケーションズ
小石原代表



大和ハウス工業株
村上社長

【ヴァイヴァルス駐日大使挨拶】

ラトビア運輸大臣、大阪府副知事をはじめお集まりの皆様、本日はラトビア共和国にとって歴史的な日になりました。われわれは2年前、東京に大使館を開設しましたが、本日大阪に名誉領事館を開設する運びとなりました。熱望しておりました日本第2の都市である大阪に名誉領事館を開くことができ、大変嬉しく思うとともに大和ハウス工業をはじめご協力いただきました皆様がたに深く感謝申し上げます。在大阪ラトビア名誉領事館の開設によって、ラトビアと大阪・関西の経済交流が一層盛んになりますことを心から期待いたしますとともに、東郷名誉領事の今後益々のご活躍をお祈りいたしております。

【高村外務大臣からの祝辞】

在大阪ラトビア共和国名誉領事館が開館されたことに対し、心よりお祝い申し上げます。わが国とラトビア共和国は、基本的価値を共有するパートナーであり、2006年に新たな外交関係開設15周年を迎えました。2007年5月には天皇皇后両陛下がラトビアをご訪問になり、その年の6月にはパブリクス外相が訪日されました。こうした要人往来に象徴されるとおり日本とラトビアの2国間関係は着実に進展しており、外務省としてはさらに関係を深化させていきたいと考えております。今回、新しく就任された東郷名誉領事が、ここ大阪を拠点として、様々な分野における両国の交流を一層深めるために、ご活躍されることを心より期待しております。

トピックス ★ラトビア共和国の首都リガで名誉領事会合開催
日本からは東郷、翁長、井下名誉領事の3名が出席★



東郷、翁長、井下名誉領事



ヴァルディス・ザトラールス大統領ご夫妻



歌の祭典リハーサル会場風景



歌の祭典に参加する皆さんのパレード

7月3日から、世界43カ国 80数名の名誉領事が集まる一大イベントが開催されました。

日本からは東郷名誉領事はじめ沖縄那覇の翁長名誉領事、北海道旭川の井下名誉領事の3名が出席し、様々な国の名誉領事とともにこれからのラトビアについて語りあいました。

また同時期には、5年に一度のラトビア全土から選抜されたコーラスグループが結集する大イベント「歌の祭典」も開催されており、リガの街は様々な民族衣装に身を包んだ男女コーラスグループでにぎわいました。

【以下、東郷名誉領事による現地レポートです】

今回は大阪からの産業視察の皆さんと一緒にラトビアを訪れましたが、3日と4日はラトビア外務省主催の世界各国の名誉領事の集いに参加し、5日、6日は日本に関係の深い人達を訪問し、歌の祭典のリハーサル見学やリガのパレードの見物などして別行動となりました。

7月3日：朝から外務省のPress Conference Hallで会合。イヴァリス・ゴドマニス首相、マリス・リエクスチン外務大臣等による経済、外交に関する話を聞く。英語が会議の共通語で通訳がないため我々日本人には不親切であったが、好調な経済発展と輸出促進の意欲、EU、NATOの一員としての外交方針、独立90周年行事(1917年に一度独立している)についての説明を受けた。

夕刻は、ヴァルディス・ザトラールス大統領主催のパーティーが大統領官邸(旧リガ城)で催された。

4日：ラトビア中部のヴァルミエラ市訪問、大学とグラスウール工場見学。工場は大規模で防災カーテンの製造ラインを見た。断熱マットも作っていて、多分輸出にかなり貢献している。ツェシスという町でミルク工場見学。この町にある、リボニア騎士団の城砦跡を見学。

5日：前外務大臣パブリクス氏と面談。その後「言語」という日本語の私塾を開いているビルギッタさんを訪問。10人ばかりの学生が日本語の漢字の学習や作文をしている姿に感激。日本の芦屋から女性が短期であるがアシスタントに来ておられ、これにも感心しました。夜は5年に一度の歌の祭典のリハーサルを鑑賞。入れ替わりもあるが3万人の人達の合唱の迫力はすごいものでした。

6日：合唱祭に参加する各地からのグループが民族衣装を着たパレードを見ました。これも5年に一度の催しです。行進する人達の晴れやかな表情がなんとも云えず、多分独立後の自由を謳歌しているように見受けました。

ラトビアは去年の7月以来二度目の訪問でしたが、初めのとっつきにくい感じと違い今回はずいぶん親しみが深まりました。会合の運営などはまだまだ不親切なところがあり、工場見学も日本のように情報をオープンにしないところを感じられ旧ソ連時代の残滓があるように思いました。しかし朝8時から夜10時までという長時間の見学ツアーを組む熱心さ(こちらは少々しんどかったですが)はラトビア側としての親切心の発露だろうと思います。是非今度はラトビアの人達にも日本を見てもらい、意見を交換できたら有意義だろうと思いました(東郷名誉領事談)

トピックス ★ 第1回産業視察団がラトビア共和国を訪問 ★★

東郷名誉領事の呼びかけにより、7社11名の有志の皆様が、ラトビア共和国を訪問しました。

今回の企画は、本年1月にラトビア本国から政府投資開発公社のオゾルフ長官が来日し大阪で投資セミナーを開催した際に、名誉領事に就任予定の東郷氏に対して「是非ラトビアへの視察団を送って欲しい!」という熱心な呼びかけに応じて実現しました。



【視察団の皆様】

前列：左から 昇信化成佐々木社長・東郷名誉領事・同夫人・ラトビアフェネリス社グループ営業部長
後列：左から ニホンフラッシュ 高橋社長 清水木材 清水社長・清水常務・三京化成 高垣常務・伸和AG 有友社長・山王 岡田常務・朝日ウッドテック 川名常務

視察団は、ラトビア共和国の首都リガに7月2日・3日の二日間滞在し、まず初日はラトビア最大の企業で白樺合板製造を行うラトビア・フェネリスの本社ならびに工場を視察したのち、世界遺産にも指定された美しい町リガの旧市街を見学しました。



広大な白樺合板工場（ラトビア・フェネリス社）



世界遺産のリガ市旧市街を視察

ラトビア産業視察 訪問記1：（山王 岡田常務・談）

「ラトビアは国土の56%を森林が占め、1600年から計画的な植林事業を国家プロジェクトとして行ってきた森林資源国であります。現在も約70年かけて木を植えて育てるサイクルを守っています。フェネリスは年商300億円を商う大企業であり、高品質な製品造りに定評があります。しかし同時に価格も高く、日本の製品と比較して約2倍の価格は、日本の住宅産業にフィットさせるためにはかなりのコストダウンと合理化が必要であります。」



ラトビア政府投資開発公社にて

翌3日は、東郷名誉領事ご夫妻は政府主催の名誉領事会合に出席されるため別行動となりました。他の皆様はラトビア投資開発公社にて、産業全般のレクチャーを受けた後、木材関係と化学関係の二班に分かれラトビアの将来を担う企業を訪問し経営者との懇談を行いました。





木材班の視察風景 ラトビアとドイツの合弁企業 LAMECO IMPEX 社（製材会社）にて

訪問記 2 : (ニホンフラッシュ高橋社長・談)

「一連の設備は見るべきものがありましたが、日本との品質に対する考え方の違いを痛感しました。乾燥させる際に、割れ止め防止と反りや曲がりの発生に対して配慮が足りない。乾燥室から出した製材品を養生するための上屋もなく、出来上がった製品を管理する倉庫もない。突然の集中豪雨を受けても誰も気に留めないのが不思議でした。作業者はまじめで、マニュアルさえあれば短期間で技術と品質管理は習得できると思えますが・・・。」



化学班の視察風景 企業を訪問し経営者と懇談 (左: elk 社 右: Baltijas Gumijas Fabrika 社)

訪問記 3 : プラスティックやゴムの化成品の製造を行う企業を視察した佐々木社長・高垣常務のお二人は、「技術力は標準をクリアしており経営者・従業員ともにまじめに取り組んでいると感じた。しかし現在は EU 圏内の市場向けで手一杯の状況で、今後日本を含むアジア市場に打って出るような意欲はあまり感じられない。また価格競争力も現状のレベルではとてもアジアで太刀打ちできないだろう。さらなる技術革新・コストダウンの努力が必要である」との評価をされました。

Special Thanks : リガの 2 日間の視察では、フェネリスの日本法人リガウッドジャパン代表の山口様・上野様ならびにラトビア政府投資開発公社の現地コーディネーターとしてご活躍中の元大使・長塚様に大変お世話になりました。ラトビアと日本との橋渡しに情熱を傾ける皆様のご配慮によって大変有意義な視察旅行となりましたことに改めてお礼を申し上げます。

ちょっとCMタイム! ラトビア共和国はじめ「バルト3国」へのお誘い:

中世の趣を色濃く残す古都リガ市をはじめ、バルト3国はEUに加盟して大変身近な国になっています。ぜひ一度訪れてください。観光手配については、大和ハウスグループのロイヤルツーリストが承ります。ぜひお気軽にお問い合わせください。

お問合せ先: 伸和エージェンシー ツーリスト事業部 迎山(むかひやま) TEL06-6532-5166

ミニ情報: リガへは現在は直行便がありませんのでフィンランド・ヘルシンキ等の経由となります。現地ガイド等については、日本で最もラトビア通の一人であるリガウッドジャパン上野代表ご推薦のアズール・ブリッジ社(日本との架け橋の意)が担当させていただきます。日本語堪能なガイドがラトビアの歴史から現代の風俗にいたるまで懇切丁寧にご紹介させていただけることと思います。

トピックス ★★神戸市の矢田市長が東郷名誉領事を訪問★★
神戸・リガ友好姉妹都市締結 35 周年記念イベントについて懇談



8月5日 大和ハウス大阪ビルにて

神戸市は 1974 年にリガ市と姉妹都市となつて以来、友好の印としてリガ市から王子動物園に雌象「ズゼ」が寄贈されるなど、官民をあげた国際文化交流を続けておられます。

25 周年を迎えた 1999 年には神戸市長がリガ市を訪問、神戸を紹介する児童画・写真展のオープニング式典に出席されました。

また 2004 年の 30 周年の際には、リガ市長が神戸市を訪れ、女声合唱団が神戸まつりに参加するなど、交流の幅は徐々に広がっています。

来年は 35 周年を迎える両都市ですが、友好の絆を深めるべく今回は今年の 11 月にリガ市から市長を初めとするミッションが来日する予定になっています。

面談時、矢田市長がリガ市訪問団にも言及されたのを受けて、東郷名誉領事はできるかぎりの協力をさせていただきたいと応えておられました。リガ市訪問団の全体スケジュールは右記のとおりです。

主な来日予定メンバー (7月28日現在)

パークス・リガ市長、ゲルハーズ経済大臣
オゾルス投資開発庁長官、ラトビア商工会議
所会頭、ボーカルグループ「COSMOS (コスモス)」、その他リガ市関係者、経済人、
アーティスト等総勢 63 名の大訪問団となる見通し。

リガ市訪問団の主なスケジュール：

11月6日(木)

午後、リガ芸術文化展、リガ行政セミナーを開催

11月7日(金)

アカペラコーラスグループ「**COSMOS** (コスモス)」コンサートを 2 箇所にて開催予定。

- ・ 12 時 10 分から神戸市役所 1 号館ロビーにてミニライブ
- ・ 18 時 30 分から神戸市混声合唱団とのジョイントコンサート (松方ホールにて)

経済セミナーを開催 14 時から大阪商工会議所にて

11月8日(土) COSMOS コンサート

夕刻から大和ハウス大阪ビル 2 階にて

11月9日(日) COSMOS コンサート

夕刻から宝塚ベガホールにて



COSMOS

ラトビア出身の男性 6 名のアカペラグループ
中世の聖歌からモダンジャズ、ポップスまで幅広い
レパートリーを持つ実力派アーティストである

ヒストリー：

- 2002 年リガ大聖堂少年聖歌隊出身の 6 名で結成
- 2003 年ファーストアルバムがラトビア年間ベストポップアルバムを受賞、現在まで 5 枚のアルバムをリリースしている

名誉領事日記（平成 20 年 7 月 18 日） 内閣府国際青年育成交流事業によって
来日したラトビアの学生さんと交流



チサンホテル心齋橋にて

国が行う国際青年育成交流事業は、諸外国の青年を日本に招聘し、日本の青年との交流活動、国際会議での討論参加などを通じて相互の友好と理解を深め、国際的な視野を持つ人材育成を目的としたプログラムです。

今年度は、総勢 88 名が約 3 週間にわたる日本国内での研修に参加しました。大阪にはヨルダンと東ティモールからの学生とともにラトビアから 6 名が訪れました。

リーダーである文部科学省のマイヤ女史（東郷顧問の右となり）に引率された 5 名の学生は、大変元気がよく、おぼえたての日本語を交えてそれぞれが学ぶ専門分野について東郷名誉領事と親しく懇談を行いました。

イベント情報！！ 歌声の国ラトビアから、リガ大聖堂少年合唱団来日

★★全国 10 会場でコンサートを開催 各地の合唱団とのコラボレーションが繰り広げられます★★



リガ市旧市街にそびえる大聖堂の聖歌隊総勢 42 名が来日、天使の歌声で日本のクリスマスを彩ります。

本公演は、ラトビア共和国独立 90 周年を記念して行われるもので、11 月 30 日の兵庫県加古郡稲美町文化会館を皮切りに、12 月 6 日には高槻市の高槻現代劇場にて、また翌 7 日には西宮市の兵庫県立文化センターにて公演を行い、最終は 12 月 13 日、愛知県の岡崎市で約 1 ヶ月半にわたる全国 10 ヶ所のロングラン公演を締めくくる予定です。

今年は、是非お近くの公演に足を運び、素敵なおクリスマスをお過ごしください。

お問い合わせ：高槻現代劇場 072-671-9999
兵庫県立文化センター0798-68-0255

イベント情報！！ ギドン・クレーメル率いるクレメラータ・バルティカ室内管弦楽団来日
★★全国 5 会場でコンサート開催★★

ラトビアが生んだ世界的バイオリニスト、ギドン・クレーメル率いるクレメラータ・バルティカ室内管弦楽団が来日します。大阪では、9 月 23 日（火祝）17:00 開演 ザ・シンフォニーホールにてコンサートが行われます。 お問合せ先：ABC チケットセンター 06-6453-6000

2008年北京オリンピックニュース

北京オリンピックでラトビア共和国3つのメダル獲得！！ おめでとうございます！！



金メダル 自転車 BMX マリス・ストロンベルグスさん



銀メダル 男子槍投げ アケルス・コバルスさん



銅メダル 重量挙げ 105kg 超級 ビクトルス・スチェルバデイスさん

日本の50分の1の人口のラトビア共和国が3つのメダル獲得は特筆もの!!

関西ラトビア友好協会設立に向けて !!

日本の関西とラトビア共和国をつなぐ架け橋として、(仮称)日ラ関西友好協会の立ち上げを計画しております。ラトビアの文化や芸術に触れ、日本の良き伝統も再発見していければ。そんな情報交換の場を作ることができれば幸いです。名誉領事館の開設をともに喜んでいただいた方を中心に、ご参加いただける皆様とともに形あるものにしていきたいと思っております。

下記に友好協会の内容について素案を記しますので是非ご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。

在大阪ラトビア名誉領事 東郷 武

仮称 関西ラトビア友好協会設立 案

(目的)

1. ラトビア共和国の文化・スポーツ・経済等日本に関係する情報を集め、会報を通じて発信する。
2. ラトビア共和国から関西を訪問する人達と交流し、理解を深める
3. 関西からラトビア共和国を訪問する人達のために観光・文化交流の企画・支援を行う

(組織)

1. 上記の目的に賛同し、興味を持たれる方はどなたでも会員として登録していただく
2. 会員の中から会の運営に参画いただける理事会員を適宜選任する
3. 会長1名、理事長1名、事務局長、監事を各1名置く

(会費)

会の運営経費として、会員から年会費をいただく(案として3,000円程度を予定しています)

お問い合わせ・ご意見は下記までお寄せください。

(仮称) 関西ラトビア友好協会事務局 (在大阪ラトビア共和国名誉領事館)

担当 山崎・金井 TEL&FAX 06-6342-1396 E-MAIL: o-latvia@daiwahouse.jp